

多言語対応・ICT化推進フォーラム in 多摩
～東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて～

多言語対応の重要性と成功の秘訣 ～意識すべき3つのキーワード～

みずほ総合研究所

太田智之

tomoyuki.ota@mizuho-ri.co.jp

2016.7.1

@東京自治会館

①第3の開国（大きな時流の変化と覚悟する）

②複眼的視点（不安ばかりに目を奪われない）

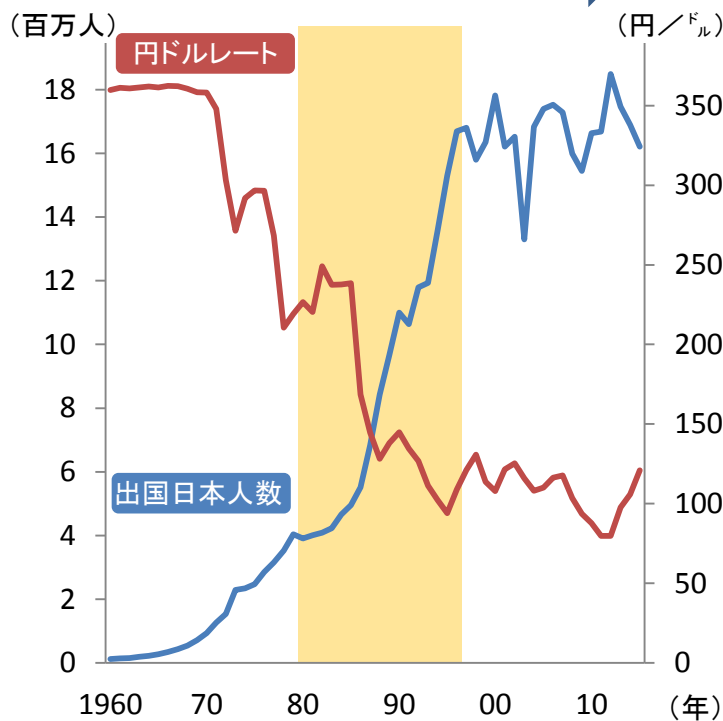
③高い志と低い目線（信じてすべきことをする）

①第3の開国（大きな時流の変化と理解する）

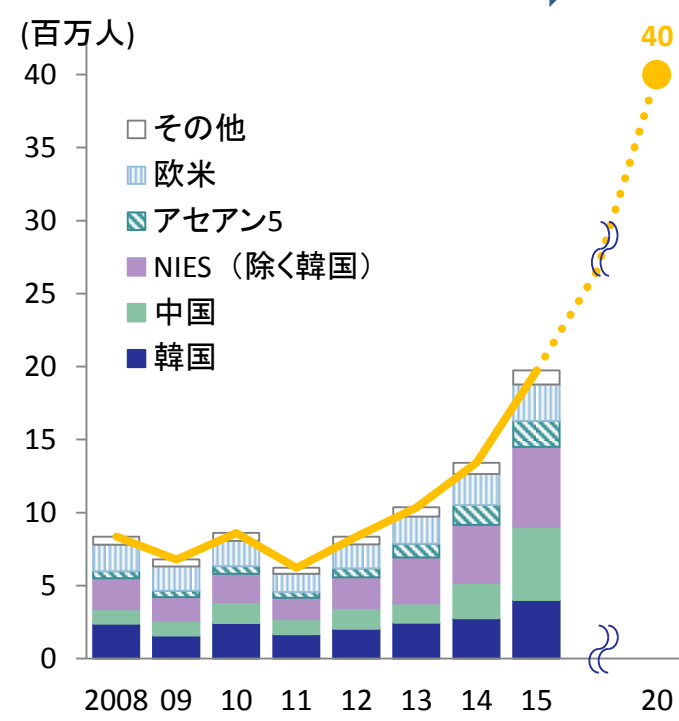
第1の開国



第2の開国



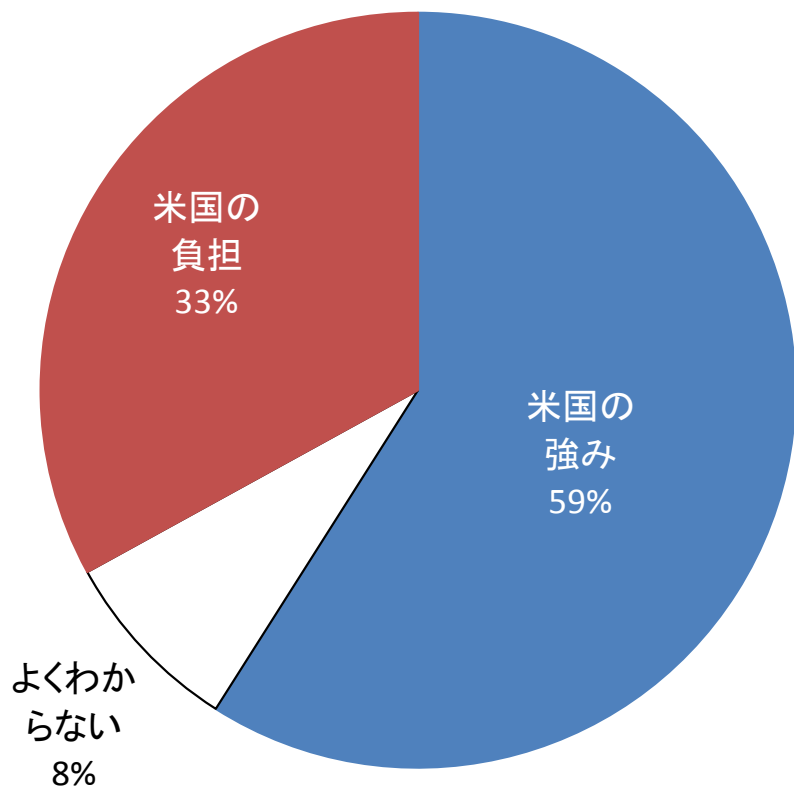
第3の開国



②複眼的視点（不安ばかりに目を奪われない）

移民は米国にとってどのような存在か？

全米上位500社の4割が移民によって設立



③高い志と低い目線（信じてすべきことをする）

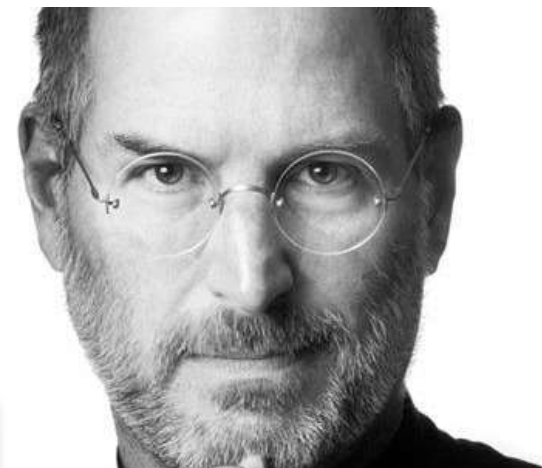
*Let's go invent
昔を振り返るのは
tomorrow rather than
ここでやめにしよう。*

*what
大切なのは明日、
ha,何が起きるかだ。ry.*

*Steve Jobs
スティーブ・ジョブズ*

先を予測して、点と点を繋ぐことはできない。過去を振り返った時にだけ点を繋ぐことができるんだ。だから、この点はいつか繋がると信じなければいけない。

- Steve Jobs



何を捨てるかで誇りが問われ、
何を守るかで愛情が問われる。

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、弊社が信頼に足り且つ正確であると判断した情報に基づき作成されておりますが、弊社はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断にてなされますようお願い申し上げます。